

「子どもにこそ、子どもの痛みがわかるのです」

子どもと若者による、性的搾取をなくすための提言

性的搾取を根絶するために、子どもと若者は提言します。

1. 政府と市民社会は、大人と子どもに、もっと教育、ライフスキル・情報を与えてください。
2. 親は、行動をもって、子どもたちを愛し、守ってください。
3. 政府は子どもを保護しなければいけません。
4. 司法当局は、法律遵守を徹底し、汚職をなくしてください。
5. 大人は、若者を対等な参加者としてこの活動に加え、尊重してください。
6. 地域社会、市民社会、子どもと若者、そして政府が共に働くことが必要です。

2007年から2008年にかけて、ワールド・ビジョンは、世界中で、子どもと若者の性的虐待と性的搾取に取り組むプロジェクトに関わった400人を超す10歳から21歳の子ども・若者から、話を聴きました。プロセスに参加した女の子・男の子¹のうち、9人はアフリカから、26人はヨーロッパから、165人はアジアから、そして257人がラテンアメリカから参加しました。彼らは、自分たちの地域社会において、性的虐待にどのように向き合ってきたのか、また、このような虐待を無くすための取組みにどのように関わってきたのか、話してくれました。住む地域も年齢も様々なこの若者たちが共有していたのは、性的虐待と性的搾取から子どもと若者—自分たち—を守りたい、という強い思いでした。

¹WVが話を聴いた子どもや若者は、ガーナ・ケニア・タンザニア・ウガンダ・レソト・ボスニアヘルツェゴビナ・ルーマニア・タイ（ビルマ系民族を含む）・ミャンマー・ベトナム・カンボジア・コスタリカ・コロンビアの出身です。コスタリカとコロンビアの子どもや若者の意見は、2007年に先立って行われた同様の調査を通して集計され、このレポートに盛り込まれています。性別や年齢ごとのデータを出していない国もありますが、そのデータがある国における女子と男子の比率は、6対4でした。

子どもを中心に、世界約100カ国で活動する団体として、ワールド・ビジョンは子どもの虐待や搾取を心から憎み、それを根絶するためのアドボカシーやプログラムに着手しています。私たちは、最も困難といえる状況において、先頭にたつて児童保護に尽力してきました。私たちがその経験を通して教えられたことは、子どもは地域社会を変革する鍵であり、対等なパートナーとしてその声は聞き入れられなければならない、ということです。大人、親、市民社会、民間企業、そして政府が、ここに登場する子どもや若者の声に耳を傾け、彼らの提言に対して共に行動を起こすことが決定的に重要なのです。

子どもや若者は、どのように性的搾取を受けているのか？

ワールド・ビジョンのグループ討論に参加した子どもや若者は、地域社会における商業的性的搾取の主な手法として、人身売買・児童買春旅行・子ども買春を挙げました。

特に問題だと若者が報告したのは、多くの場合、親や権威をもつ大人が、**子どもの性的搾取問題の原因の一端を担っている**ということです。

ラテンアメリカの子どもは「商業的性的搾取は、お金・高額品・食べ物と引き換えに、親が自分の娘や息子の体を売るときに起きる。」と説明します。

タイの若者は、親が子どもに売春させようとホテルに連れて行く様子について、そのホテルの名前を挙げながら話しました。「ホテルの主人が仲介者で、タイ人も外国人も買春する。典型的な場合だと、60歳の男が5歳の幼い男の子とセックスするためにお金を払う。こういう男たちは金持ちで、親はこんなことをさせるために子どもをホテルに連れて行くんだ。」

先生も子どもを苦しめています。参加した子どもからは、拘留所内の学校で少年がグループリーダーに虐待された様子が報告されました。ベトナムの子どもは次のように報告しています。「先生によっては、成績を悪用して、生徒を性的に虐待するん

だ。つまり、良い成績と引き換えに、性的な行為を生徒に強要するんだ。」との説明がありました。

若者たちは、特に弱い立場に置かれた子どもたちの存在にも気づいています。タイの子どもたちは、「移民の子どもたちは、不法滞在というステータスゆえに、自分の権利を主張できない。不法移民の子どもが搾取されて警察に行っても、(警察は)気にもかけないんだ。」と説明しました。

参加したほとんどの子どもから、大人が子どもの弱さと純粋さを食い物にする様子が語られました。大人は、仕事をあげる、有名な歌手や俳優に育てる、結婚する、世界を見せてあげる、物質的な豊かさを保証する、などと約束して近づくのです。



タイの子どもたちは、彼らの地域で子どもたちが直面している性的搾取被害の様子を絵に描きました。この絵は、多くの子どもたちが、児童買春旅行を最も正確に表していると投票したものです。絵の中には、ホテルの側にいる3人の人物が描かれています。外国人旅行者が、タイ語で「ふうむ、美味しそう」、母親が「やったわ！これでお金を稼げるわ」、そして子どもが、「悲しい。誰か助けて。」と言っています。

性的搾取の結果

性的に搾取された子どもや若者は、多くの場合さまざまな精神的、肉体的、社会的困難、例えば鬱・トラウマ・(エイズを含む)病氣・妊娠・恐怖・羞恥心・孤独・自信欠如・教育不足・他人から受ける屈辱感・家族からの拒絶や離縁・社会的地位の喪失など、に直面すると、若者たちは指摘します。性的搾取を生き延びても、地域社会を去ることを強制されたり、自殺したいとさえ思ったりする場合もあります。

文化によっては、性的に搾取された女の子は、汚名や不安から、将来の結婚を拒絶されることもあります(カンボジア)。その他にも、「女の子が虐待されたとき、その子が結婚適齢期に達していなくても、家族は結婚を強制することがある。」というところもあります(ベトナム)。また、このような女の子の多くは「虐待の結果妊娠して生まれた子どもの出生証明書をもらえない。」という事態に遭遇します(ベトナム)。若者はまた、地域社会のメンバーや法執行が、性的搾取を生き延びた子どもを非難するものであることを懸念しています。「十分な知識のない人々は、理解がなく、被害にあった子どもを責めがちだ。地域社会は、被害にあった子どものことに共感し、自分の子どものように手助けするべきだ。」(ミャンマー)

なぜ子どもや若者は性的に搾取されるのか？

ワールド・ビジョンが、なぜ子どもや若者が性的に搾取されるのかを尋ねたところ、彼らの多くは次のように答えました。

1. 情報と教育が足りない。

若者や彼らを守るべき大人に、情報・ライフスキル・学校教育が足りていないことが、性的搾取の一番の原因だと考えられています。「子どもが危険に気づいていなければ、どのようなことが自分に起き得るのかわからない。」(ルーマニア) 若者が弱いのは「ライフスキルがないからで、どのように自分を守ればよいのかわからない。」(ベトナム)からです。さらに、「学校(の教科)は、多くの場合、性や安全なセックスに関する問題を避けているから、子どもは、良くない性体験から自分を守る情報が十分でない。」(ベトナム)「女性の識字率はとても低い。仲介業者や人身売買業者をすぐに信じるから簡単に騙

されてしまい、(女性やその女性に頼る子どもが被害にあってしまう。)(カンボジア)

2. 思いやりのある親や家族に恵まれない。

若者のどのグループも、「親に思いやりや気配りがなくないこと」(ベトナム)や「家庭崩壊」(タイ)が性的搾取の根本の原因だとしました。「子どもは自分を守る方法がよくわからないから、子どもであることを利用するのは簡単だと思う。自分の家庭が機能不全に陥っていたら、子どもが孤独感を味わっていたら、親が子どもの無事を確かめないなら、特にそうだ。」(ルーマニア)「(性的虐待を含む)家庭内暴力は子どもを家から追い出して、最後は売春宿で性的に搾取されるようになる。」(カンボジア)多くの若者は、レイプが商業的性的搾取の連鎖にはまりだとも語ります。

3. 法の執行が不十分。

多くの若者は「法が実行されず、役人の間で汚職がはびこっていること」(カンボジア)を懸念しています。「こういう行為をしても何の罰も受けないのであれば、(虐待は)終わることはないだろう。」(ウガンダ)もし警察が汚職にまみれてしまっているならば、人々が信頼して頼ることのできる機関はほとんどありません。「警察は、ブ仲介人や顧客のように、性産業から大きな利益を得ているんだ。捜査の前に店主には警察から連絡がいくから、未成年の女の子は別の場所に移せる。捜査の結果逮捕者ができるのは、地元外の警察官が捜査に関わっているときだけだ。」(タイ)



4. 貧困と物質的欲求。

全てのグループが、お金がないことを若者の性的搾取が起こる理由としてあげています。「人々は仕事を探すために出て行かなければならず、そこで搾取される。」(ボスニアヘルツェゴビナ)「貧乏だから、子どもたちは性的に搾取されるのだと思う。家族は食べ物を得るために女の子を使うことが多い。彼らは、生きるために女の子にセックスさせるし、その子たちには、同意も反対もする余地はない。」(ダンザニア)「私たちの国のある地域では、武装した(不法)グループが子ども、特に女の子を利用する。なぜなら、そのお金で力をつけられるから。私たちの国では、貧困と強制移住が多くの子どもを性的搾取の犠牲者にしたと思う。」(カンボジア)

若者は、性的搾取は、貧困、そして時には若者の物欲のために起きるとしました。「貧困・教育不足・収入の低さが子どもの性的搾取の根本的な原因だ。加害者が携帯電話やお金、その他宝石などの高価な物で、ぜいたくぶりを見せびらかすと、貧しい人もそれを欲しくなり、親が子どもを、仲介業者や人身売買業者に引き渡してしまう。」(カンボジア)

カンボジアでワールド・ビジョンが運営するトラウマ回復センター「Neaver Thmey」に入所している女の子たちは、自分たちの過去、現在、未来をあらわす「人生の川」の絵を描きました。絵の中で、彼女たちは自分たちの過去を描きました。貧困や両親の病気が原因で、学校を辞めざるをえなかったこと。村の住民にレイプされ、恥ずかしさから、引っ越さざるをえなかったこと。仕事の口があるからと親しい友人に騙されて、喫茶店を偽装した買春宿に送り込まれ、その後刑務所に送られ、家族と引き離されたこと。しかし、今の生活を表現する部分では、少女たちは、友人がいて、読み書きができるようになり、センターの援助者、教師やスタッフから愛情を受けているという幸せを描きました。未来の部分では、思い思いに夢を描きました。「お金をかせいで家族をささえられるよう、仕立屋さんになりたい。」「勉強を続けたい。」「マイホームを持ちたい」「私の人生に二度と大きな壁に立ちあはだかってほしくない。」「少女たちが願ったのは、「世界みんなが幸せであるように。」ということでした。

性的搾取を根絶するために、子どもと若者は提言します。

1. 政府と市民社会は、大人と子どもに、もっと教育、ライフスキル、情報を与えるべきです。

グループ討議に参加した子どもや若者のほとんどが、十分な情報へのアクセスと自分たちと大人に対する学校教育が、若者の保護を助け、より安全な地域社会を築くために最も重要だと感じています。政府、非政府組織 (NGOs)、市民社会と民間企業は皆、そのためにできることがあります。

- 「まずは教育、子どもとその親に対する教育と情報へのアクセスから全てが始まる。」(ルーマニア)「親と子どもに自分を守る方法を教える。」(タイ)「子どもの性的虐待とライフスキルに関する知識は、自分たちを守るために大切だ」(ベトナム)
- 「村での意識を高めるための活動を増やす。」「人身売買業者や売春斡旋業者がよく使う嘘」などの役立つ情報を仲間や地域社会で共有する(カンボジア)。助けを求めするためのホットラインの設置や、安全な移住。
- 子どもや若者にとってわかりやすい方法で情報提供する。「児童虐待のメッセージをテレビでビデオクリップを使って流す」、地元のラジオ番組で取り上げる、ホットラインの電話番号を明記したチラシやポスターを公共場所に掲出する。「子どもの性的虐待(防止)に関するハンドブックは、カラー刷りで写真をもっと多く載せて、若者の目を引くようにする」(ベトナム)
- 宗教指導者を含む地域社会のリーダーは、もっとこの問題を認識するべきです。「宗教指導者は、宗教的儀式の中で子どもの保護に関する話をするべきだ。」(カンボジア)「神父は、子どものためにもっとよく知らなくちゃいけない。神父も(性的搾取について)子どもたちに教えることができる。」(ボスニアヘルツェゴビナ)
- 教育は、虐待を生き延びた人が回復するための一番の希望です。「虐待を生き延びた人が学校や地域社会に戻れるように受け入れる。」(ベトナム)「彼女を普通の人として大切にする。」(カンボジア)そして「虐待を生き延びた人を、自分たちの社会の普

段の活動に入れることで、彼女の人生を前向きに切り開く。」(カンボジア)

政府は、全ての人に質の高い学校教育を保証する必要があります。

- 若者は、「学校教育と知識共有が広く実施されることを」望んでいます。(ミャンマー)「学校は、現代社会に潜む児童虐待の危険に対してもっと意識を高めるべきだし、危険な状況で子どもがどのように対応すればよいのか教えるべきだ。」(ベトナム)
- 先生は、性的搾取に関する現実起きている話をみんなにして、子ども向けの教材を配ったり、主流教科や授業予定にこういう情報を組み入れたりすることで、防止の一役を担うことができる。(カンボジア)「先生が幼少期にセックスすることの弊害について、私たちに教え、指導し、話してくれることは、私たちを守ることにつながる。」(レソト)「子どもの商業的性的搾取に関して、先生と親で話し合う場を持つべきだ。」(カンボジア)
- 「生徒に対する圧力や暴力のない優れた環境」をもつ安全な学校を建てる。そのような学校は生徒を引き付けて、落第率も下がるだろう。落第してしまった子どもたちは、最終的に性的搾取の犠牲者になってしまうことが多い。」(カンボジア)

2. 親は、行動をもって子どもを愛し、守るべきです。

若者は、自分を守り、愛し、安心を与えてくれる家庭を望んでいます。また親に対し、良い手本になり、性的虐待に結びつく可能性のある危険な行動から子どもを守るため、情報を得て子どもに関わってほしいと願っています。

- 「子どもは、特に親や地域社会からの愛・配慮・保護を欲しているし、それを必要としています。」(ミャンマー)「強い家庭や温かい家庭は、子どもを守ることができる。」(タイ)「全ての子どもが愛されていると感じ、弱い存在だと感じなくてすむように、全ての子どもを平等に扱う。」(ベトナム)
- 「自分の子どもを守り保護することができるように、親には十分な情報が与えられているべき。」(ボスニアヘルツェゴビナ)「親は子どもに、性的虐待の危険について教える

べき。例えば、父親は娘に、抱擁や手の握り方など、大人の男性と若い女の子の間の適切な接し方について、話ができる。」(ベトナム) 虐待を経験した子どもたちは、親たち

- 「親は、家庭や村でレイプが起きたとき、黙っているべきではない。」(カンボジア) 親はまた、「子どもが自ら話すことを励まして、子どもが虐待されていないか把握」(ベトナム) すべきです。

3. 政府には、子どもを保護する義務があります。

子どもや若者は、政府に対して、子どもたちや家族が社会的保護を受けられるように要望しています。政府は次の行動をとる必要があります。

- 児童買春・人身売買・性観光産業からの保護と防止のために資金援助をすることで、子どもを大切に。「政府がは、性的搾取問題にもっと注目し重要視すべき。特に、地域社会レベルに注目すべき。政府にとっては小さな問題でも、被害にあった人にとっては大きな問題なのだから。」(タイ)
- NGO と協働し、「援助施設や援助制度、カウンセリングや直通電話サービスを設ける。」(タイ)「子ども用ケアセンターを拡大する。」(ミャンマー)そして、「草の根レベルでの児童保護ネットワークを確立するため、互いに協力する。」(カンボジア)
- 「困難な状況にある子どもの親に」(ミャンマー) 就業機会を増やす。また、「農村地域の人々にも」就業機会を増やす。「なぜなら、多くの場合、十分な収入があれば、子どもは学校に行く機会を得られ、家計を助けるために働く必要もなくなり、他の地域に出稼ぎに出なくてもすむようになるから。」(カンボジア)
- 子どもポルノグラフィから守る。「子どもがインターネットショップに行っても悪影響を受けないように規制」(ベトナム)したり、子どもたちの「良くないウェブサイトへのアクセス」(ミャンマー)を制限したり、「不法なポ

ルノサイトを作る人を罰し」(タイ)「インターネットからポルノ(を排除する)」(ケニヤ)。

4. 司法当局は、法律を守り汚職をなくし、子どもや若者の性的搾取を告訴して防止するべきです。

若者は、法律や、子どもの権利条約ストックホルム宣言と行動計画などの国際条約が、子どもを性的搾取から守るために存在することを認識している一方で、地域社会の汚職や法律の執行に問題があると考えています。

- 「関連の現行法や政策を、実際に有効利用する。」(ミャンマー)「警察は、性的搾取を取り締まる法律を執行し、性的搾取を働く人にそれが悪い行いだと理解させる必要がある。警察は、性的搾取の存続を許してはならない。」(ウガンダ)
- 「(人身売買が行われる)国境沿いで警察の汚職を阻止し、加害者の逮捕にむけて行動を起こす。」(カンボジア)「汚職役人を罰することで、法の刑罰から逃れるために金をかけるような人々を止まらせるべきだ。」(ボスニアヘルツェゴビナ)
- 「(警察は)事件を知ったら、すぐに行動を起こして欲しい。被害者の訴えを待つ必要はない。」(カンボジア) 当局は、虐待や搾取の経験を語る子どもを信頼すべきです。権力を濫用してはいけません。「被害者、特に子どもの被害者に対して、脅したり責めたり悪い言葉を使わないでほしい。」(カンボジア)
- 「法律をもっと厳しくするべき。性犯罪には、もっと強力で厳しい刑罰を用意するべきだ。」(ボスニアヘルツェゴビナ)

5. 大人は、子どもと若者の性的搾取根絶を目指す活動において、年少者を対等な参加者・パートナーと認めて取り組みに加え、尊重するべきです。

子どもと若者は、同世代の現実をより深く理解し、伝えることができるため、自分たちを、この虐待と積極的に闘う当事者だと見えています。そして彼らはすでに、自分たちに悪影響を及ぼす問題の解決に取り組んでいます。

- 「今のところ、子どもの視点は無視されている。」その結果、「子どもたちは、決定できずに苦しんでいる。」(ラテンアメリカ)「子どもをめぐる課題は、子どもの声を通して問題をとらえてほしい。」「公共の場で、も

っと子どもが自分の考えを表明できるように後押しして。」そして「子どもが意見を言える会議を設けて。」(タイ・ベトナム)「大人は、子どもを見下したり、子どもの意見をばかにしたりしちゃいけない。」(ミャンマー)

- 「若者は、自分たちに影響する問題を、より深く理解している。子どもにこそ、子どもの痛みがわかるから、大人が解決策を見出す役に立てる。」(タイ)「ほとんどの場合、子どもは大人と違う見方で物事をとらえる。大人は、子どもや若者と話すことによって、考えが及ばなかった点や重要だと思わなかった点に気づくことができるだろう。」(ルーマニア)若者はまた、「弱い立場にある子どもに起こった現実の事件をもとに、仲間同士の意識が高まる」ことで連帯できるし、「大人が(子どもを性的に搾取)しようとするのを見れば、止めに入ることもできる。」(ミャンマー)

6. 地域社会、市民社会、子どもと若者、政府は、性的搾取を根絶するために共に働くべきです。

- 「友達、親、先生、警察、精神科医そして国が、力になれる。」(ボスニアヘルツェゴビナ)
- 「社会全体が、これは特殊な問題ではなく、自分たちみんなに関わりのある問題だと自覚すべきだ。私たちみんなに責任があるし、自分の周りにいる人々に何が起きているのか、よく目を開くべきだ。」(ルーマニア)子どもの性的搾取は「地域社会のメンバーひとりひとりと社会全体の責任」(ルーマニア)なのだから、私たちの目的と誓約を成し遂げるために「私たち全員が手を携えて、共に働かなくてはならない。」(ミャンマー)「ひとりひとりが自分の役割を果たせば、問題はきっと解決する。」(タイ)

子どもと若者は、過去に大人によって提示された計画や約束が実施されないために、今日も、子どもたちが虐待や搾取の犠牲となり続けていることを、これ以上ただ待っていることはできません。私たち全員が、「世界の子どもを守り、彼らのより良い生活を送る権利のために闘い、彼らの将来にみんなが誇りをもてるように！」(ルーマニア)しなければいけません。

子どもと若者は、大人が、このメッセージを真摯に受け止め、行動をもって応えてくれるのを期待しています。



タイの子どもが描いたこの絵は、25歳の外国人が、12歳の少女から買春する場面を描いています。絵の上部には、「子どもを犠牲にして、あなたは幸せを手にいれている」と記されています。絵の横には次のようなメッセージが記されています。「タイの子どもたちは誤った方向へ道を踏み外す危機に瀕しています。大人の皆さん、あなたがたの子どもをちゃんと守ってください。」